

に備えて

度近畿府県合
度緊急消防援



近畿府県合同防災訓練を 小松島市内で実施

小松島港赤石埠頭にて10月29日と30日の2日間、近畿2府7県（福井県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・徳島県）の合同防災訓練が実施され、多数のヘリコプターが飛び交う大規模な訓練が行われました。

この訓練は、災害時における防災関係機関相互の連携を深め、広域的な防災体制の充実・強化を図り、住民参加による自助・共助意識の醸成や県民の防災意識の高揚を目的としています。

主会場の訓練箇所では、ビル倒壊・土砂災害・トンネル崩壊・橋梁倒壊などの対応訓練があり、時折雨が降る天候不良の中、消防隊員や自衛隊員、警察病院の医師らが真剣なまなざしで訓練に取り組んでいました。

そのほかにも、和田島・坂野・新開小学校の児童たちの防災ダンスや起震車による地震体験コーナー、煙体験ハウス、炊き出し食の試食などもあり、来場者からは様々な催しを通じて防災の大切さなどを学んでいました。